

2018年度第2四半期
決算補足資料

2018年11月9日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2017年度		2018年度		比較増減			
	上期実績	通期実績	上期実績	通期見込	上期		通期	
売上高	2,193	4,547	2,218	4,550	25	1%	2	0%
営業利益	146	309	93	245	△ 53	△36%	△ 64	△21%
経常利益	172	363	128	300	△ 44	△26%	△ 63	△17%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	117	246	88	210	△ 28	△24%	△ 36	△15%

※2018年度通期見込は、本年10月29日に見直しを行っています。

- ✓ 2018年度上期は、経常利益で前年同期比△26%の減益決算となった。
- ✓ 原料鉱石の購入条件悪化により、製錬部門を中心に減益となった。

為替、金属価格

	2017年度実績			2018年度実績		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(円/\$)	111.1	111.0	111.1	109.1	111.5	110.3
銅：(\$/t)	5,663	6,347	6,005	6,872	6,103	6,487
亜鉛：(\$/t)	2,598	2,962	2,780	3,114	2,534	2,824
インジウム：(\$/kg)	186	182	184	307	266	286

事業環境（上期）

➤ 廃棄物関連

国内：廃棄物の発生は堅調

東南アジア：スポット案件が遅延し、廃棄物処理量が減少

➤ 自動車関連

好調な自動車生産を背景とした需要が継続

➤ 新エネルギー・電子部品関連

新エネルギー：中国での補助金減少の影響を受け需要が減少

電子部品：スマートフォン向けを中心に堅調

➤ 金属価格・為替相場

金属価格：下落局面にあった

為替相場：概ね110円台前半で安定的に推移

主要製品の動向

※2017年度1Qを100として指数化

		2017年度				2018年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	90	95	86	103	85
	リサイクル原料集荷量 (小坂向け)	100	96	104	103	124	122
	東南アジア廃棄物処理額	100	87	87	92	94	95
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	82	70	85	85	68
	亜鉛生産量 (秋田)	100	79	111	100	108	79
電子材料	LED販売量	100	107	121	109	117	93
	銀粉販売量	100	118	117	82	92	83
金属加工	伸銅品販売量	100	97	106	102	100	101
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	106	114	114	114	113
	工業炉売上高	100	143	115	194	97	151

セグメント別の損益 前年比

単位：億円

	2017年度 上期実績			2018年度 上期実績			比較増減			経常利益の増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	482	26	29	512	28	32	29	2	2	・廃家電、自動車シュレッダーダストの集荷堅調
製錬	1,023	43	65	1,093	1	27	69	△ 41	△ 38	・製錬原料の購入条件悪化 ・電力価格の上昇 ・期末評価損失の発生
電子材料	410	30	33	333	16	21	△ 77	△ 14	△ 11	・銀粉の中国向け減販 ・研究開発費の増加
金属加工	422	32	33	460	31	32	37	△ 1	△ 1	・伸銅品の需要堅調 ・銅価格の下落に伴う、一時的な損失の発生
熱処理	129	10	9	136	12	12	6	1	2	・熱処理加工、工業炉とも堅調
その他、 全社・消去	△ 276	4	0	△ 317	4	2	△ 41	0	1	
計	2,193	146	172	2,218	93	128	25	△ 53	△ 44	

経常利益の要因別分析 前年比

単位：億円

2018年度上期 - 2017年度上期	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	7	△ 24	△ 13	△ 0	3	1	△ 27
うち実収差量（数量差）	-	△ 7	-	-	-	-	△ 7
実収差量（金属価格単価差）	-	9	-	-	-	-	9
外貨建収入為替差	-	△ 1	0	-	-	-	△ 1
原料条件（条件差）	-	△ 18	-	-	-	-	△ 18
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 6	-	-	-	-	△ 6
電力代ほか	-	△ 2	-	-	-	-	△ 2
減価償却費（製造原価）	△ 5	2	△ 1	△ 1	△ 1	△ 0	△ 5
営業利益増減	2	△ 41	△ 14	△ 1	1	0	△ 53
営業外収支の影響							
・持分法損益	1	△ 2	0	△ 0	0	2	0
・その他	△ 0	5	3	△ 0	1	△ 0	7
経常利益増減	2	△ 38	△ 11	△ 1	2	1	△ 44

セグメント別の損益 当初予想比

単位：億円

	2018年度 上期予想 (5/11公表)			2018年度 上期実績			比較増減			経常利益の増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	527	30	31	512	28	32	△ 14	△ 1	1	・一部廃棄物の処理単価低下 ・廃家電、自動車シュレッダーダストの集荷堅調
製錬	1,099	45	68	1,093	1	27	△ 5	△ 43	△ 40	・亜鉛など金属価格の下落 ・期末評価損失の発生
電子材料	362	20	27	333	16	21	△ 28	△ 3	△ 5	・銀粉の中国向け減販
金属加工	466	35	35	460	31	32	△ 5	△ 3	△ 2	・銅価格の下落に伴う、一時的な損失の発生
熱処理	143	13	12	136	12	12	△ 6	△ 0	0	・熱処理加工、工業炉とも堅調
その他、 全社・消去	△ 307	2	2	△ 317	4	2	△ 10	2	0	
計	2,290	145	175	2,218	93	128	△ 71	△ 51	△ 46	

財務の状況 ①

■ 連結貸借対照表

単位：億円

	2018年 3月末	2018年 9月末	比較増減		2018年 3月末	2018年 9月末	比較増減
流動資産	2,283	2,301	18	流動負債	1,428	1,444	16
				固定負債	659	825	165
固定資産	2,281	2,424	142	非支配株主持分	89	87	△ 2
				自己資本	2,388	2,369	△ 18
総資産	4,565	4,726	160	負債・純資産計	4,565	4,726	160
				有利子負債	1,098	1,273	174
				自己資本比率 (%)	52.3	50.1	△ 2.2

- ✓ 鉱山開発に伴う投融資や海外における事業展開により、総資産は前期末比で増加し4,726億円となった。また、これらの投資により、有利子負債は1,273億円に増加した。

財務の状況 ②

■ 連結キャッシュフロー

単位：億円

	2017年度 上期	2018年度 上期	比較増減
営業キャッシュフロー	4	154	150
税金等調整前当期純利益	170	126	△ 43
減価償却費	83	90	6
法人税等	△ 76	△ 53	23
棚卸資産	△ 215	△ 35	180
その他	42	26	△ 15
投資キャッシュフロー	△ 122	△ 215	△ 92
設備投資	△ 108	△ 111	△ 2
その他投資	△ 13	△ 103	△ 90
財務キャッシュフロー	91	78	△ 12
キャッシュフロー計	△ 26	18	44

2018年度 連結業績の見通し

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2017年度 実績 ①	2018年度 業績予想			年度増減 (③-①)
		5/11公表 ②	10/29公表 ③	増減 (③-②)	
売上高	4,547	4,750	4,550	△ 200 △4%	2 0%
営業利益	309	320	245	△ 75 △23%	△ 64 △21%
経常利益	363	380	300	△ 80 △21%	△ 63 △17%
親会社株主に帰属する 当期純利益	246	265	210	△ 55 △21%	△ 36 △15%

- ✓ 2018年度の業績予想については、上期の業績及び足元の相場環境などを勘案し、本年10月29日に前回予想の見直しを行いました。

セグメント別の損益（通期）前年比

単位：億円

	2017年度 実績			2018年度 業績予想 (10/29公表)			比較増減			経常利益の増減要因
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	993	49	57	1,045	55	63	51	5	5	・廃家電、自動車シュレッダーガストの集荷堅調
製錬	2,179	92	130	2,243	40	80	63	△ 52	△ 50	・製錬原料の購入条件悪化 ・電力価格の上昇 ・持分法適用会社の減益
電子材料	777	56	61	667	32	45	△ 110	△ 24	△ 16	・銀粉の中国向け減販 ・研究開発費の増加
金属加工	906	72	75	935	72	74	28	△ 0	△ 1	・伸銅品の需要は堅調
熱処理	282	26	25	299	32	32	16	5	6	・熱処理加工、工業炉とも堅調
その他、 全社・消去	△ 591	12	13	△ 639	14	6	△ 47	1	△ 7	・持分法適用会社の減益
計	4,547	309	363	4,550	245	300	2	△ 64	△ 63	

前提条件・感応度（2018年度下期）

感応度（営業利益/下期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	110.0 円/\$	±1 円/\$	2.1
銅	6,200 \$/t	±100 \$/t	0.3
亜鉛	2,600 \$/t	±100 \$/t	2.0
インジウム	250 \$/kg	±10 \$/kg	0.3

※為替感応度の内訳は、製錬部門1.7億円、電子材料部門0.4億円です。

為替、金属価格

	2017年度			2018年度				参考 10月平均
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	上期平均	下期前提	年度平均	
為替：(円/\$)	111.1	110.6	110.9	110.0	110.3	110.0	110.1	112.8
銅：(\$/t)	6,005	6,884	6,444	7,000	6,487	6,200	6,344	6,216
亜鉛：(\$/t)	2,780	3,328	3,054	3,200	2,824	2,600	2,712	2,672
インジウム：(\$/kg)	184	269	226	350	286	250	268	239

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円

	2016年度 実績			2017年度 実績			2018年度上期 実績			2018年度 見込		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計									
環境・リサイクル	57	3	60	82	4	86	21	1	23	80	4	84
製 錬	82	20	103	123	12	136	90	8	99	270	12	282
電 子 材 料	37	32	70	46	34	81	21	19	41	30	45	75
金 属 加 工	40	5	45	36	5	42	46	3	50	60	7	67
熱 処 理	53	4	57	49	3	53	30	1	31	50	3	53
全社、その他	24	0	23	8	0	9	6	0	5	10	0	10
合計	294	66	361	348	61	409	217	34	251	500	73	573

(参考) 減価償却費

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 上期実績	2018年度 見込
環境・リサイクル	45	43	25	58
製 錬	38	46	19	42
電 子 材 料	23	27	12	32
金 属 加 工	20	24	12	30
熱 処 理	19	20	10	25
全社、その他	9	10	5	12
合計	157	172	87	202

■ 2018年度上期の主な投資

製錬 : ロス・ガトス亜鉛鉱山の建設

金属加工 : 伸銅品製造設備の増強

熱処理 : 熱処理加工設備の増強 (日本・インド)

(参考) ヒストリカルデータ

■ 連結財務数値

(単位：億円)

		2016年度					2017年度					2018年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	937	910	1,029	1,228	4,105	1,101	1,091	1,193	1,161	4,547	1,151	1,066	-	-	-
	営業利益	76	57	73	133	339	82	64	86	76	309	69	24	-	-	-
	経常利益	68	67	91	137	365	90	81	104	86	363	85	42	-	-	-
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	49	49	64	98	261	61	55	74	54	246	60	28	-	-	-
環境・リサイクル	売上高	218	235	233	281	969	243	239	251	258	993	263	248	-	-	-
	営業利益	10	16	19	20	66	16	9	13	10	49	17	10	-	-	-
	経常利益	8	16	21	21	68	17	12	16	11	57	19	13	-	-	-
製錬	売上高	497	447	522	609	2,077	501	522	582	572	2,179	587	506	-	-	-
	営業利益	29	3	13	54	100	29	14	28	20	92	16	△ 14	-	-	-
	経常利益	29	9	24	58	122	38	26	35	29	130	28	△ 1	-	-	-
電子材料	売上高	131	139	171	183	625	232	177	206	160	777	177	155	-	-	-
	営業利益	14	14	14	22	65	14	15	14	10	56	11	4	-	-	-
	経常利益	12	15	18	21	68	15	17	16	11	61	13	7	-	-	-
金属加工	売上高	175	175	189	214	754	210	211	245	238	906	230	229	-	-	-
	営業利益	15	16	17	20	69	15	16	20	20	72	16	14	-	-	-
	経常利益	15	16	18	20	71	16	17	20	20	75	17	14	-	-	-
熱処理	売上高	55	59	63	72	251	59	70	69	83	282	63	72	-	-	-
	営業利益	4	4	4	10	23	3	7	6	9	26	4	7	-	-	-
	経常利益	3	3	5	9	22	2	7	6	8	25	5	7	-	-	-
その他、 全社・消去	売上高	△ 140	△ 148	△ 151	△ 134	△ 574	△ 145	△ 130	△ 162	△ 153	△ 591	△ 171	△ 145	-	-	-
	営業利益	2	2	3	5	13	3	1	3	5	12	2	1	-	-	-
	経常利益	△ 1	5	2	5	11	0	0	8	5	13	1	0	-	-	-

■ 前提条件

	2016年度					2017年度					2018年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替：(¥/\$)	108.1	102.4	109.3	113.6	108.4	111.1	111.0	113.0	108.3	110.9	109.1	111.5	-	-	-
銅：(\$/t)	4,730	4,774	5,281	5,834	5,154	5,663	6,347	6,808	6,959	6,444	6,872	6,103	-	-	-
亜鉛：(\$/t)	1,915	2,253	2,518	2,781	2,367	2,598	2,962	3,234	3,422	3,054	3,114	2,534	-	-	-
インジウム：(\$/kg)	237	206	195	190	207	186	182	239	298	226	307	266	-	-	-

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。